

久山中便り

久山中学校
令和7年8月27日発行
第35号

笑顔で再開

二学期始業式

二学期がスタートしました。仲間と久しぶりに顔を合わせ、学級では笑顔が多くみられました。

今回の始業式では、代表生徒の皆さんに、夏休みの体験を踏まえた意見発表をお願いしていました。

三年生代表の発表（抜粋）を紹介します。
自分はラグビーにたくさんさんの経験をさせてもらった夏休みになりました。中でも印象に残っているのが、九州大会です。自分が所属しているチームは新人戦や県大会でも良い結果を残してきたので、全員が九州大会も優勝を目指して臨みました。

しかし、結果は準優勝という悔しい結果に終わりました。相手のチームは自分たちと比べ、基礎的な面で細かいところを徹底して行っていて、スキがなくとても強いチームでした。

この結果を受け止め、自分たちは相手チームを見習い、基礎的な力を一から鍛えなおし

ています。

日常生活やスポーツ、勉強など、どんな場面でも、基礎的な力はとても重要です。

大会では、どんな上位に進むにつれて、忘れがちですが、九州大会を通してあらためて、基礎的な力の大切さを感じることができました。

次は、九月の半ばに全国大会があります。目標である日本一を目指し、基礎的な力を大切にして頑張りますので、応援よろしく願います。

結果を振り返り、負けた原因を分析して、次の目標を設定している素晴らしい内容です。全国大会での健闘を祈念します。

ほかにも、吹奏楽部の卒部コンサートを振り返った一年生代表、旅行で訪問した現地の自然の雄大さを味わった二年生代表など、実体験を通じた発表がありました。

きっと、一人一人の生徒の皆さんも、夏休みに貴重な体験をしたことだと思います。その体験から学んだことを、二学期の学習や活動に生かしましょう。



「やる気」がでる「しくみ」

始業式では、実体験の大切さと「やる気」についてお話ししました。

「やる気」は、人が行動を起こすときの原動力となるものです。しかし、いつも「やる気」がわいてくるわけではありません。

練習しても結果が出ないとき。

何度挑戦してもできないようにならないとき。

伸びても褒められないとき など、やっても

もやっても、行動と結果が伴わないと、徐々に「やる気」がなくなっていくことは、誰しもが経験していることだと思います。

そこで、大切なことは、**うまくいかなかった原因を分析すること**。

三年生の発表にあったように、「基礎的な力を徹底して磨いていなかった」といった敗因の分析が、次の目標につながり、「やる気」を高めることにつながります。

行事等の多い二学期です。これまでを振り返り、うまくいかなかった原因を分析して目標設定し、やる気を高めて望んでくれることを期待しています。

